



東陽病院 鈴木 健士 内科医師

健康への

メッセージ

シリーズ 95

インフルエンザの予防接種

光町のみなさんこんにちは。お彼岸も終わり、過ごしやすくなっている頃かと思えます。今回はインフルエンザの予防接種についてお話ししたいと思います。

インフルエンザの流行する季節は冬ですが、その季節が来る前にあらかじめワクチンを接種して予防するわけです。ワクチンは厚生労働省でその年に流行が予想される型を検討して10月中旬頃までにつくられます。何種類かの型の混合したワクチンですが、全てのウイルスに効くわけではありません。ですから型がはずれていけばワクチンを打ってもあまり意味がないという可能性もあります。またいわゆる普通の「風邪」は多種類のウイルスによって引き起こされますので、ワクチンの開発は困難でインフルエンザワクチンを打ついても防げません。

「予防注射を打つたのに風邪を引いてしまいました」と言われることがあります。申し訳ありませんがこれは仕方のないことなのです。

これではワクチンを打つ意味はないように感じられたかもしれませんが、インフルエンザは風邪よりも症状が重く特に高齢者などでは致命的になることもあります。数年前にインフル

エンザが流行したときには大勢の方が亡くなられたことは記憶に新しいところです。特に老人施設などでは集団感染が起こると大変です。ワクチン接

種を積極的に打っているようです。

ではどのような人がワクチン接種をすべきなのでしょう。もちろん接種を希望される方は受けていただく結構なのですが、特に勧めたいのは高齢の方、心臓や肺などの病気を患っている方、副腎皮質ホルモンなどの免疫を抑える薬を服用している方などです。東陽病院では9月から接種を希望される方の予約を行っています。接種は先にお話したように10月中旬からとなります。今年は昨年よりも多くのワクチンを用意しておりますが、ご希望の方はなるべくお早めにご来院ください。また以前はワクチンを2回接種しておりましたが、最近のデータでは1回の接種でも2回打ちとあまり変わらない効果が得られるとされており、東陽病院でも昨年からの1回打ちに変更しております。



インフルエンザワクチンは必ずしも住民の方全員が受けなければならないものではありませんが、基礎疾患のある方や冬に肺炎を起こす心配のある方などは進んで受けていただきたいと思えます。

「母親学級」を開催します

日時 10月26日(金) 午後2時から4時

場所 東陽病院2階 産婦人科外来

対象 制限はありません

※東陽病院の休日当番日

10月14日(日)・11月4日(日) 午前9時～午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話を ☎④1335

文学講演会

演題『書く楽しみ』

ほんの

森

講師 たかどの ほうこ氏
(児童文学作家)

=町立図書館=
☎④3311

講師紹介

1995年、函館市に生まれる。東京女子大学文理学部日本文学卒業。在学中から子どもの本の創作をはじめ。『へんてこもりここうよ』(偕成社)、『いたずらおばあさん』(フレベル館)で、路傍の石幼年文学賞を受賞。その他の作品に、『ココの詩』『時計坂の家』(リブリオ出版)、『まあちゃんのかかみ』『みどりいろのたね』(福音館書店)など多数ある。札幌市在住。

日時 11月3日(祝日)
午後1時30分～3時30分
場所 図書館2階ハイビジョンホール
定員 100名<入場無料>
申込 カウンターまたは、電話で受付します。

休館日

10月7日(日)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、31日(水)